

公益社団法人私立大学情報教育協会
平成 30 年度第 2 回情報セキュリティ研究講習会運営委員会議事記録

I. 日 時：平成 30 年 5 月 22 日（火） 13：00 ～ 15：00

II. 場 所：私立大学情報教育協会 事務局会議室

III. 参加者：柴田担当理事、浜委員長、根本委員、中田委員、服部委員、峰内委員、高橋委員、
西松委員、沼委員、市川アドバイザー
（事務局）井端事務局長、野本（記）

IV. 検討事項

(1) 委員の紹介として、2 名の新委員が紹介された。

(2) 講習会開催日の確定

- ・ 前回の委員会で 8 月下旬に設定した開催日を、他機関のイベントと日程が近いことから、前の週の 8 月 23 日（木）24 日（金）で実施することにした。

(3) 講習会に向けた課題や意見

- ・ 対策や問題意識などが形骸化されている現状についての対応策が必要ではないか。
- ・ 大学へのセキュリティ攻撃状況は、海外（留学生含む）からの攻撃などにより、大学を踏み台にする場合が多い。
- ・ 攻撃の狙いは、家庭環境や人脈などの情報が考えられる。
- ・ セキュリティ投資コストのバランスをいかに考えるか。
- ・ どのような危険があるのか、教育すること、徹底させることが重要で、その後にルール作りの説明の流れが考えられる。
- ・ 事件事故の対応は、大学全体への影響から情報の枠組みでは判断しないことが考えられる。
- ・ 研修に代表での出席しか見られない状況があり、訓練の事例を紹介してはどうか。インシデント前段階のトレーニングモデルを持ち帰らせられないか。
- ・ スマホ、タブレット、クラウドに関連する話題をどこかで紹介してはどうか。
- ・ 今後、学内でどのように対応していくのかをレポートの形で書かせてはどうか。

(4) 講習会のスケジュール案として下記項目が検討された。

① 全体会

- ・ 「サイバー攻撃の最新動向から見る新たな大学のリスク」
- ・ 「ベンチマークリスト結果に見る私立大学のセキュリティ課題」
- ・ 「インシデント対応の教育訓練事例」
- ・ 「グループディスカッション情報セキュリティのリスクを実感する」
- ・ 「情報メディアの多様化と拡大するリスクへの対応」（法律および社会的な対応）
- ・ 「事例から学ぶ」（情報センターのインシデントへの対応例、構成員における事前予防と事後の対応方法、添付メール開封体験、大学の情報セキュリティと投資・コストのバランス検討など）

② セキュリティインシデント分析コース

- ・ 情報窃取・情報流出のリスクと手口
- ・ インシデントレスポンスの基本的な流れ
- ・ 標的型攻撃のインシデントレスポンス演習、痕跡調査

③ セキュリティ政策・運営コース

- ・ ベンチマークテストの結果と先進的取組事例から情報セキュリティ整備計画を考える
- ・ 情報セキュリティポリシーと対策基準の整備事例から情報セキュリティ整備計画を考える

④ 総合演習

- ・ インシデントレスポンス演習（事故発生から報告まで）
- ・ 経営陣に向けて（教育・啓蒙の必要性、整備計画）

V. 次回のスケジュール

次回の委員会は、6 月 12 日に開催し、開催要項の確定を目指すことにした。